

人形劇を楽しみました

6月8日、子育て支援センターたちばなで、オレンジ母親クラブの方々に人形劇や紙芝居をしていただきました。クラブのお母さん方は、子どもたちに人気のある絵本「はらぺこあおむし」を人形劇にして演技。大きなはらぺこあむしにびっくりして泣いてしまう子もいましたが、みんな楽しく過ごすごうことができました。



看護師としての誓いを胸に



6月3日、大島看護専門学校で第7回戴帽式が行われました。戴帽式は、看護師を目指す学生にナースキャップを与える節目の儀式です。学校長は女子生徒にはナースキャップを、男子生徒には胸に花を付け、看護師として勉学に励む40名を激励しました。

ふれあいと 対話が築く 明るい社会

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です。犯罪や非行のない明るい社会を築こうと全国的な運動が展開されています。周防大島町でも7月1日に、大島地区保護司会と更正保護女性会の皆さんが、大島郡内をパレードし大島庁舎を訪れ、法務大臣からのメッセージを町長に手渡しました。青少年などの犯罪のニュースが連日報道されていますが、保護司会の皆さんは犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生への理解を深めるため活動しています。



命の大切さを考える



日良居中学校では、6月20日から24日の間、「学校公開ウィーク」を開催しました。期間中は地域の方や保護者が、日ごろの学校の様子を自由に参観することができました。6月20日には「在り方・生き方講演会」として学校医で町立橋病院第二内科の山本徹先生が講演をしました。山本先生は医者という仕事から見た生命の尊さを、心臓の模型や図を使って説明しました。参加した生徒や保護者は、複雑な心臓のしくみを聞いて人間の生命力の強さを知り、命の尊さを感じていました。